

年休問題の改善を強く求める！ 今年もSMTと団体交渉開催！

3月27日、新幹線地本は組合員の出向先であるSMT（新幹線メンテナンス東海）と団体交渉を開催し、年休問題や職場改善などについて協議しました。

SMTでは特に年休が取得できないことが深刻な問題となっています。現在の年休抽選方式では、冠婚葬祭でも年休取得ができません。年休が入らない根本原因は、退職する人が後を絶たないため、要員不足となっていることです。

出向組合員が現場の生の声を訴える！

団体交渉にはSMTに出向している吉井さん、芳原さんも参加しました。交渉では「退職者が多く出ると要員不足となりその都度採用を行う。しかし退職者が後を絶たない悪循環が続いている」「3年前から同じことが繰り返されている。もっと社員に対する配慮が必要である」「出向者の年休発給率は9割と答えているが10月からほとんどとれていない」「私傷病で休むと年休として処理される場合が多い

から、普通に年休が発給された訳ではない」「休日出勤が毎日のように要請されやりくりしている」など問題点を追及し、年休を取得できる要員確保を強く要求しました。



健康を最優先し坦務変更を！

また、東京ファリシティに出向している山本さんの坦務変更を求めました。山本さんはホームゴミ回収が主な業務となっていますが、健康上の理由から、体の負担が軽減できる業務への坦務変更を求め、主治医も「軽作業が望ましい」との診断書を出しています。しかし、SMTは「そのような考えはない」「産業医は問題がないと言っている」と人間扱いしていない回答をしました。「症状が悪化し倒れるなどした場合責任を持てるのか」と問いにも、明確に答えることができませんでした。私たちは、今後も山本さんの坦務変更を強く求めていきます。